

2025年12月8日

三井住友海上火災保険株式会社
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
MS & ADシステムズ株式会社

2025年度（第43回）IT賞において「IT奨励賞」を受賞

MS & ADインシュアランス グループの三井住友海上火災保険株式会社（代表取締役社長：船曳 真一郎）、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）およびMS & ADシステムズ株式会社（代表取締役社長：津田 卓也）は、公益社団法人企業情報化協会（会長：山内 雅喜、以下「IT協会」）※1が主催する2025年度（第43回）IT賞において、「IT奨励賞」を受賞しました。

3社は、デジタル技術によるわかりやすく信頼性の高いサービスの提供を通じて、お客さまの利便性向上と業務基盤の強化を図るとともに、社会との共通価値を創造することで、「レジリエントでサステナブルな社会」の実現に貢献していきます。

※1：IT協会 Webサイト (<https://jiit.or.jp/awards/it/>)

1. 「IT賞」の概要

ITやデジタル技術を活用して、優れた業務改革や社会貢献を実現した活動体（企業・団体など）を称える表彰制度です。日本の産業界や公共分野におけるIT・デジタル活用の推進と、その先進的な実践の普及を目的として、IT協会が主催しています。



2. 受賞取組

(1) IT奨励賞（顧客価値・サービス革新）

受賞テーマ	～火災保険の継続手続きをスマートフォンでいつでも・どこでも・かんたんに～火災Web継続システムの構築※2
受賞会社	三井住友海上、あいおいニッセイ同和損害保険、MS & ADシステムズ
取組内容	<ul style="list-style-type: none">個人向け火災保険契約を対象に、継続契約の見積り～申込手続きをお客さまのスマートフォン等で完結するサービスを開発。「UX※3最大化」と「ネットと代理店網の融合」をコンセプトに、いつでもどこでも簡単に手続きできる設計を採用。わかりやすい画面デザインにより、誰でも直感的に理解・操作できる仕組みを実現し、お客さま利便性の向上に寄与している。

※2：2025年2月19日ニュースリリース（[三井住友海上、あいおいニッセイ同和損害保険](#)）

※3：User Experience（ユーザー体験）の略称。使いやすさや満足度など、製品・サービスにまつわるすべての体験。

(2) IT奨励賞（経営・業務改革）

受賞テーマ	グループ各社の資産運用リスク計測システム統一化
受賞会社	MS & ADシステムズ
取組内容	<ul style="list-style-type: none">MS & ADグループ各社が独自に運用していた資産運用リスク計測システムを、約1年で共通のクラウド（SaaS※4）へ移行し、統一化。「Fit to Standard※5の方針」に則って標準化を先導。保守運用コストの削減と運用の一貫性を実現することで機能差やバージョン差が解消され、グループ全体のリスク管理体制と運用耐久性を強化。

※4：Software as a Serviceの略称。ソフトウェアをインターネット経由で提供するサービスモデル。

※5：製品の標準機能に合わせて業務を設計する方針。

以上